

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	ネットワーク	科目名	ネットワークサーバ構築			科目コード	T1421B1			
配当期	前期	授業実施形態	通常			単位数	4 単位			
担当教員名	森岡 卓哉	履修グループ	2A(JT/KS/KW/SI)			授業方法	演習			
実務経験の内容	業務アプリ開発者として10年間ITシステム開発に従事。企業フルスタックエンジニアとして10年間従事。EC構築や業務支援のフリーソフト・オープンソースのパッケージソフトウェア運用支援や開発などに従事してきた。これら実務経験をもとに、実践に即した授業を行う予定です。									
学習一般目標	Linuxは世界一使われている自由なOSです。皆様のご自宅にあるWiFiルータに入っていたり、テレビに入っていたり、身近なところで縁の下の力持ちをやっています。自動動作なので気づいてないかもしれません。それらの自動動作について命令をしたり設定変更するのが、コマンドです。授業ではコマンドと設定を変更を学んでいきます。Linuxは世界一使われている自由なOSです。皆様のご自宅にあるWiFiルータに入っていたり、テレビに入っていたり、身近なところで縁の下の力持ちをやっています。自動動作なので気づいてないかもしれません。それらの自動動作について命令をしたり設定変更するのが、コマンドです。授業ではコマンドと設定を変更を学んでいきます。									
授業の概要および学習上の助言	GNUコマンドはUNIX哲学に基づいた小さなプログラムである。1. 一つのことをうまくやるプログラム2. プログラムを連携させる。3. 文字列ストリームを扱うプログラム。これらの基本概念を組み合わせるようになる。その過程で、サーバの仕組み・基本的なコマンドを理解し、サーバの管理や操作になれクラウド構築ができることを目的とする。コマンドは実際に操作することで理解が深まる。授業に出席し実習課題に取り組むことで、習熟度を上げられることでしょう。なんでもできるアプリではなく、なんの役に立つかわからないと思うかもしれないが、「使えばわかる。」ということ念頭に置いてがんばってください。									
教科書および参考書	教科書：小笠原種高(著)「ゼロからわかるLinuxサーバ超入門 Ubuntu対応版」(株式会社技術評論社 ISBN:4297134276) その他参考資料：参考文献やWebサイト・WEBコンテンツを適宜紹介する。									
履修に必要な予備知識や技能	この授業には英語の「略称」が多く登場します。英語の略称(コマンド)を「英語の命令文(コマンド)」として言葉を扱う事が多い。見慣れない言葉が出てきたら「なんの英文の略字」か常に考えると、上達が速くなります。PCへのソフトウェアのインストール・各種変更操作ができること。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークの7レイヤの知識についても授業で解説はするが、予備知識があるのが望ましい。プログラミング授業のような自動補完などは使いません。タイピング量が多いので、キーボード練習をしましょう									
使用機器	Windows PC / Linux 仮想マシン									
使用ソフト	GNU/Linux Distro: ubuntu 22.04仮想環境 : Oracle VM Virtual Boxクライアントソフト : Windows Terminal									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2	GNU/Linuxの特徴や用途を理解し、機能・役割を説明することができる。								
	1/4	各種サーバの役割・しくみを理解し、簡単な設定と動作確認ができる。								
	1/4	サーバの設定方法について理解する。								
	3/5	意欲をもって実習に取り組むことができる。								
	5	クラスメイトで助け合い、教師への質問を通し積極的にコミュニケーションをとることができる								
達成度評価	学部DP	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
		1.知識・理解	0	0	0	20	0	0	0	20
		2.思考・判断	0	0	30	0	0	0	0	30
		3.態度	0	0	0	0	0	0	10	10
		4.技能・表現	0	0	0	0	0	0	0	0
		5.関心・意欲	0	0	0	20	0	0	20	40

	総合評価割合	0	0	30	40	0	0	30	100
評価の要点									
評価方法	評価の実施方法と注意点								
試験	なし								
小テスト	簡易的な進捗調査をします。								
レポート	課題解決授業でおこないます								
成果発表(口頭・実技)	毎回の演習課題(Linuxの操作課題、進捗報告)の到達度を評価する。								
作品									
ポートフォリオ									
その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断します。10点								

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	第1回 仮想環境設 サーバの種類・仕組み GNU/Linuxの概要 OS種類・役割 CLI/GUIの違い UNIX哲学	講義、実習	
第2回	第2回 Linuxのインストール 基本操作(ディレクトリ移動)	講義、実習	
第3回	第3回 基本操作(ファイル・フォルダ操作) ・ファイル作成・削除・変更 ・フォルダ作成・削除・変更 ・パーミッション	講義、実習	
第4回	第4回 基本操作(ファイル操作)パイプライン処理	講義、実習	
第5回	第5回 基本操作(ユーザ・グループ・権限)	講義、実習	
第6回	第6回 基本操作(ユーザ・グループ・権限) 基本操作(ファイル表示・編集・vi)	講義、実習	
第7回	第7回 基本操作(ファイル表示・編集・vi)	講義、実習	
第8回	第8回 シェル	講義、実習	
第9回	第9回 サーバ管理パッケージ管理 ファイアウォール	講義、実習	
第10回	第10回 Webサーバ構築	講義、実習	

第11回	第11回 Webサーバ構築	講義、実習	
第12回	第12回 認証設定 運用管理	講義、実習	
第13回	第13回 まとめ	講義、実習	
第14回	第14回 課題解決型授業1	授業実施時期:x期	
第15回	第15回 課題解決型授業2	授業実施時期:x期	